

# Hirata

平田機工株式会社

証券コード：6258

個人投資家様向け  
会社説明資料

- I. 会社概要
- II. 当社の製品と競争優位性
- III. 業績概要
- IV. 株主還元
- V. ESGの取り組み

**I. 会社概要**

II. 当社の製品と競争優位性

III. 業績概要

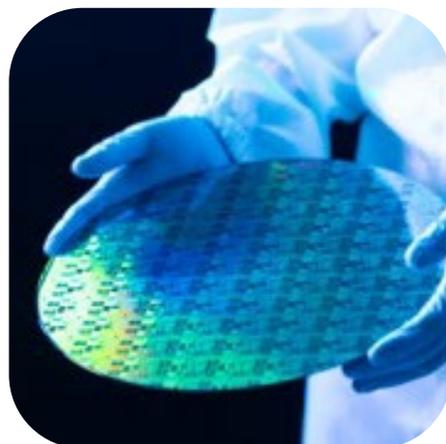
IV. 株主還元

V. ESGの取り組み

## I-1 平田機工について

Hirataは「さまざまな産業分野の生産設備をつくるメーカー」です

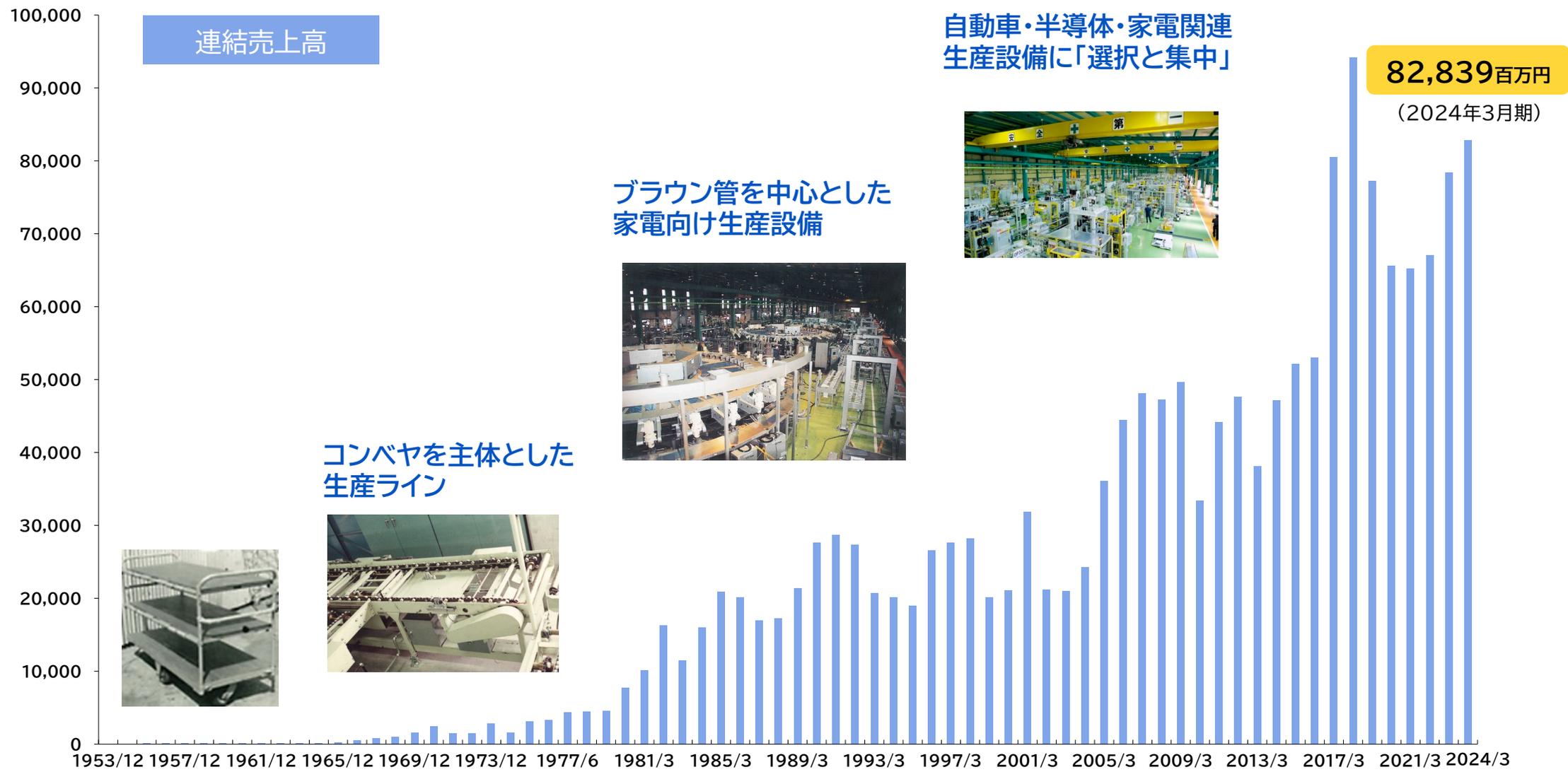
1951年の創立以来、自動車、半導体、家電など、  
さまざまな産業分野の生産システムを製造・販売してきました。



- 売上高 828億39百万円
- 拠点数 国内事業所7拠点  
海外関係会社9社
- 従業員 連結2,323名  
単体1,419名
- 上場市場 東京証券取引所プライム市場

(2024年3月31日現在)

# I-2 売上高推移



## I-3 事業セグメント

- 現在は事業を自動車関連、半導体関連、その他自動省力機器の3つのセグメントに分類

### 自動車関連

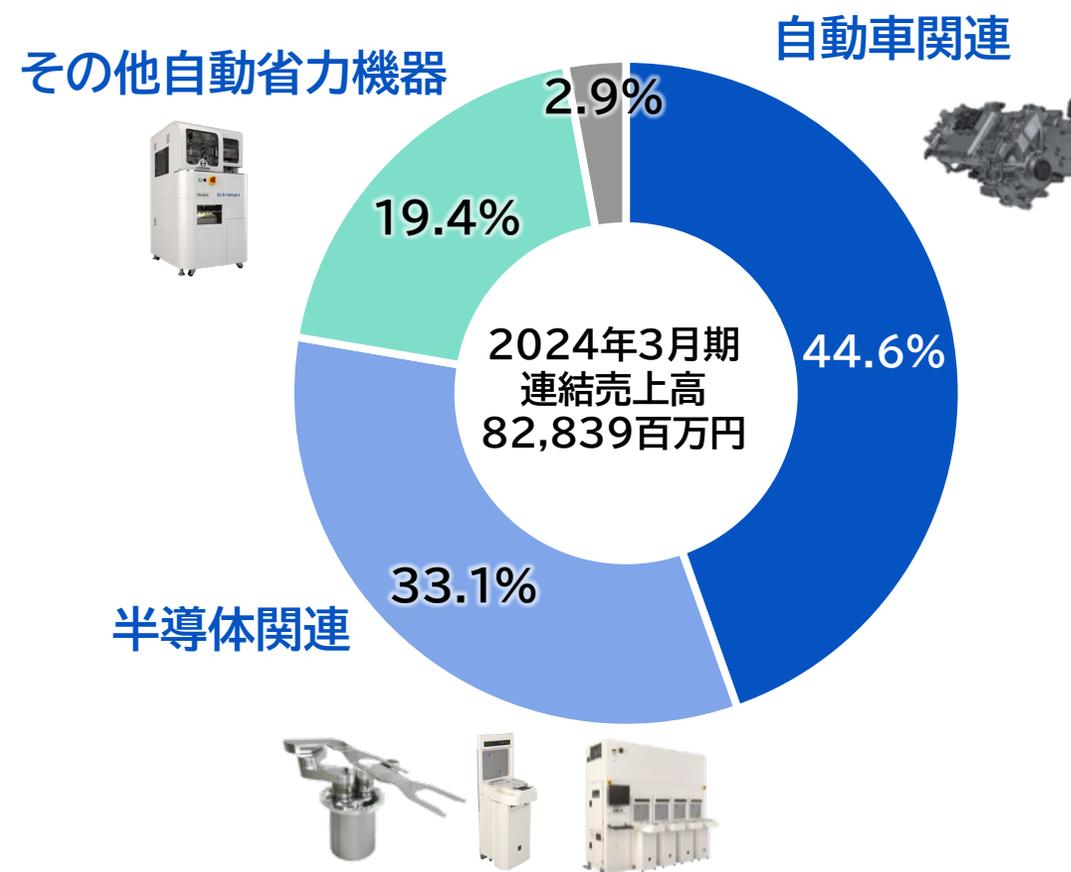
- ・ EV駆動機構やエンジンのほか、自動車に不可欠なコンポーネントの生産設備を製造

### 半導体関連

- ・ 半導体の材料となるウェーハの搬送装置等を製造

### その他自動省力機器

- ・ 産業用ロボットや医療理化学機器のほか、家電製品のキーコンポーネントなど多様な分野の生産システムを製造



# 目次

---

I. 会社概要

**II. 当社の製品と競争優位性**

III. 業績概要

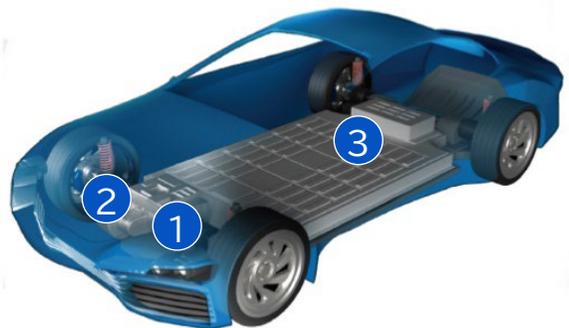
IV. 株主還元

V. ESGの取り組み

## II-1 製品概要：自動車関連の主要製品

- EV関連を中心に北米自動車メーカー（“ビッグスリー”）、北米新興EVメーカー、車載用電子部品メーカー向け製品を製造

### EV関連の主要製品



#### 1 EDU組立設備

主力分野

EDU (Electric Drive Unit) と呼ばれる車載用のモーターとギアボックスを組み合わせた、EVの駆動用部品の組立設備



#### 2 IGBT・インバーター組立設備

主力分野

IGBTやインバーターといった、EVやトランスミッション車に搭載される車載用電子部品の組立設備



#### 3 バッテリー関連組立設備 (セル充放電工程)

拡大分野

バッテリーのセル工程の一部である充放電工程の搬送設備



- 上記EV以外にもエンジン車、ハイブリッド車関連設備も手掛けております

## Ⅱ-2 自動車分野における競争優位性

### 主要なお客様

#### EDU組立設備・エンジン関連組立設備

- 北米自動車メーカー(“ビッグスリー”)
- 北米新興EVメーカー
- 国内自動車メーカー

#### IGBT・インバーター組立設備

- 国内車載用電子部品メーカー

#### バッテリー関連組立設備 (充放電工程)

- 国内バッテリーメーカー

### 当社の競争優位性

- 最長で総延長1kmを超える大型設備を自社のみで手掛ける技術力
- 開発から生産・保守まで自社で担う一貫体制
- お客様要求に応えるエンジニアリング力

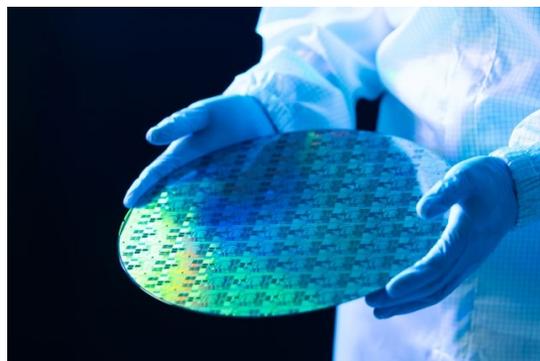


EDU大型設備の生産工場

## II-3 製品概要：半導体関連の主要製品

- 半導体製造装置メーカー向けにウェーハ搬送装置や検査装置間のハンドリング装置を製造

### 半導体関連の 主要製品



#### ● ウェーハ搬送装置

主力分野

シリコンウェーハを各種処理装置に取り込む**ロードポート**、大気・真空環境に対応可能な**ウェーハ搬送ロボット**およびそれらを統合した**EFEM**



搬送ロボット ロードポート EFEM

#### ● 検査装置間の搬送装置

主力分野

完成したICチップを検査装置や別のトレイに運搬・移載する**ハンドリング装置**など



ハンドリング装置(チップハンドラー)

#### ● PLP(パネルレベルパッケージ)関連装置

拡大分野

PLP工程等に使用される、パネル基盤搬送用の**EFEM・ロードポート**・**ウェーハ搬送ロボット**やパネル製造用の**搬送設備**



PLP用  
ロードポート

PLP用  
搬送ロボット

## II-4 半導体製造工程における当社製品の活躍領域

- 半導体製造工程の前工程、後工程それぞれのプロセスに当社の装置が使われている

前工程

後工程



使われている当社の装置

使われている当社の装置



搬送ロボット



ロードポート



EFEM



PLP用  
搬送ロボット



PLP用  
ロードポート



ハンドリング装置  
(チップハンドラー)

## II-5 半導体分野における競争優位性

### 主要なお客様

#### ウェーハ搬送装置

- ・国内半導体装置メーカー

#### 検査機間の搬送装置

- ・北米デバイスメーカー
- ・国内検査装置メーカー

#### PLP関連装置

- ・北米デバイスメーカー
- ・国内／欧州基盤製造メーカー

### 当社の競争優位性

- ・豊富なコンポーネントのラインナップ
- ・お客様の要望に合わせたカスタマイズ力
- ・丈夫な堅牢性、高い処理能力



豊富なラインアップ



お客様の要求を満たす  
知見・技術

## II-6 製品概要：その他自動省力機器分野の主要製品

- 医療理化学機器や家電メーカー向けの組立設備などさまざまな産業分野向け製品を製造

### その他自動省力機器関連の 主要製品



超音波ガイド下集束超音波治療装置

#### ● 医療理化学機器

主力分野

検体検査用の装置（病理組織標本作製装置や全自動連続薄切装置）など



病理組織標本作製装置

#### ● 超音波ガイド下集束超音波治療装置

新規分野

- すい臓がんを対象にした集束超音波治療装置をソニア・セラピューティクス社（本社：東京都新宿区、以下ソニア社）と共同開発中
- ソニア社の集束超音波技術と当社ロボット技術を融合させ、患者にやさしい非侵襲的ながん治療を目指す

#### ● 家電メーカー向け組立設備

主力分野

高性能家電に組み込まれるモーターの組立設備をはじめあらゆる設備・装置を製造



家電関連組立装置

#### ● 有機EL用蒸着装置

有機ELパネル用の真空蒸着装置の製造を受託

## II-7 その他自動省力機器分野における競争優位性

### 主要なお客様

#### 医療理化学機器

- ・国内医療専門メーカー

#### 家電メーカー向け組立設備

- ・アジア家電製造メーカー

#### 有機EL用蒸着装置

- ・国内製造装置メーカー

### 当社の競争優位性

- ・さまざまな分野の生産設備・装置に携わってきた豊富な知見とノウハウ
- ・開発から生産・保守まで自社で担う一貫体制
- ・お客様要求に応えるエンジニアリング力



温室効果ガス排出量を抑えるエコ電動装置

## II-8 豊富な製品群を生み出す国内生産拠点

半導体・ロボット関連



本社(熊本)  
熊本工場

半導体関連



楠野工場(熊本)

自動車・半導体・バイオ機器関連



熊本東工場

自動車・半導体関連



七城工場(熊本)

家電・自動車関連

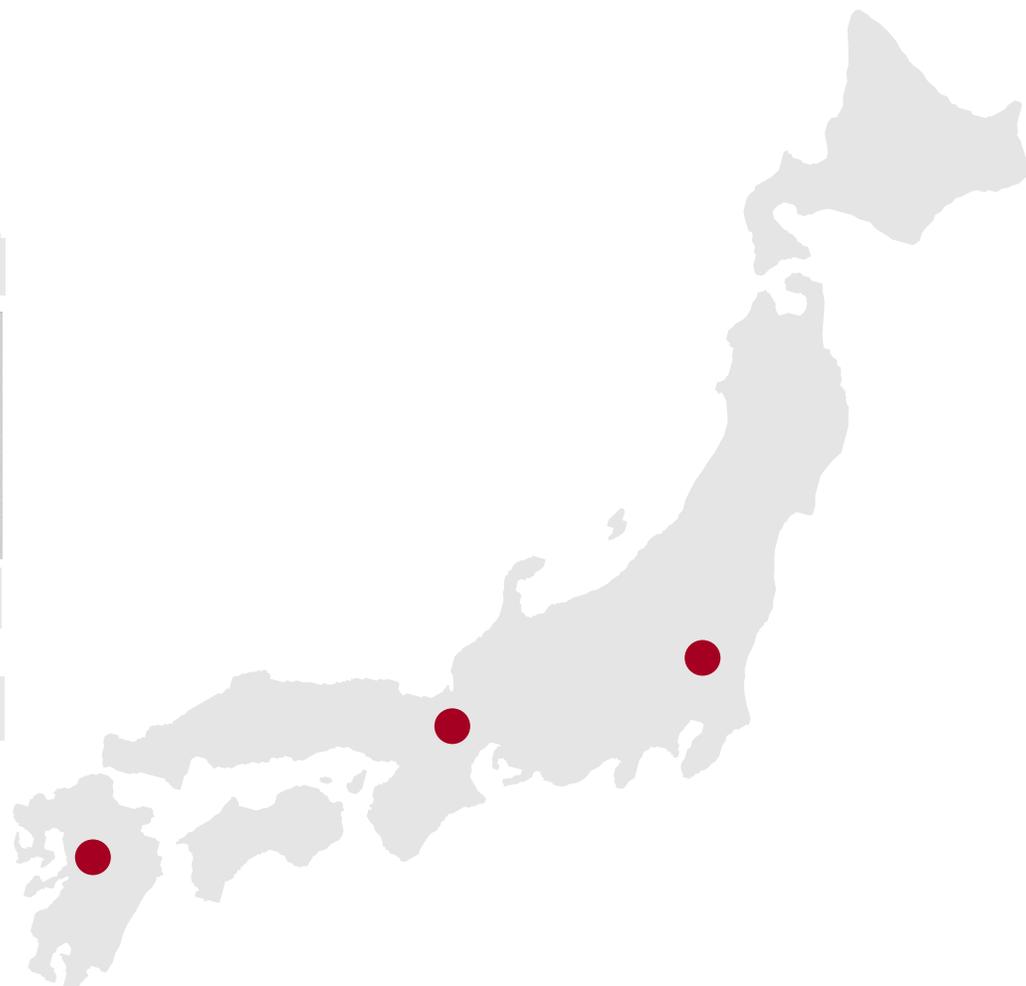


関西工場(滋賀)

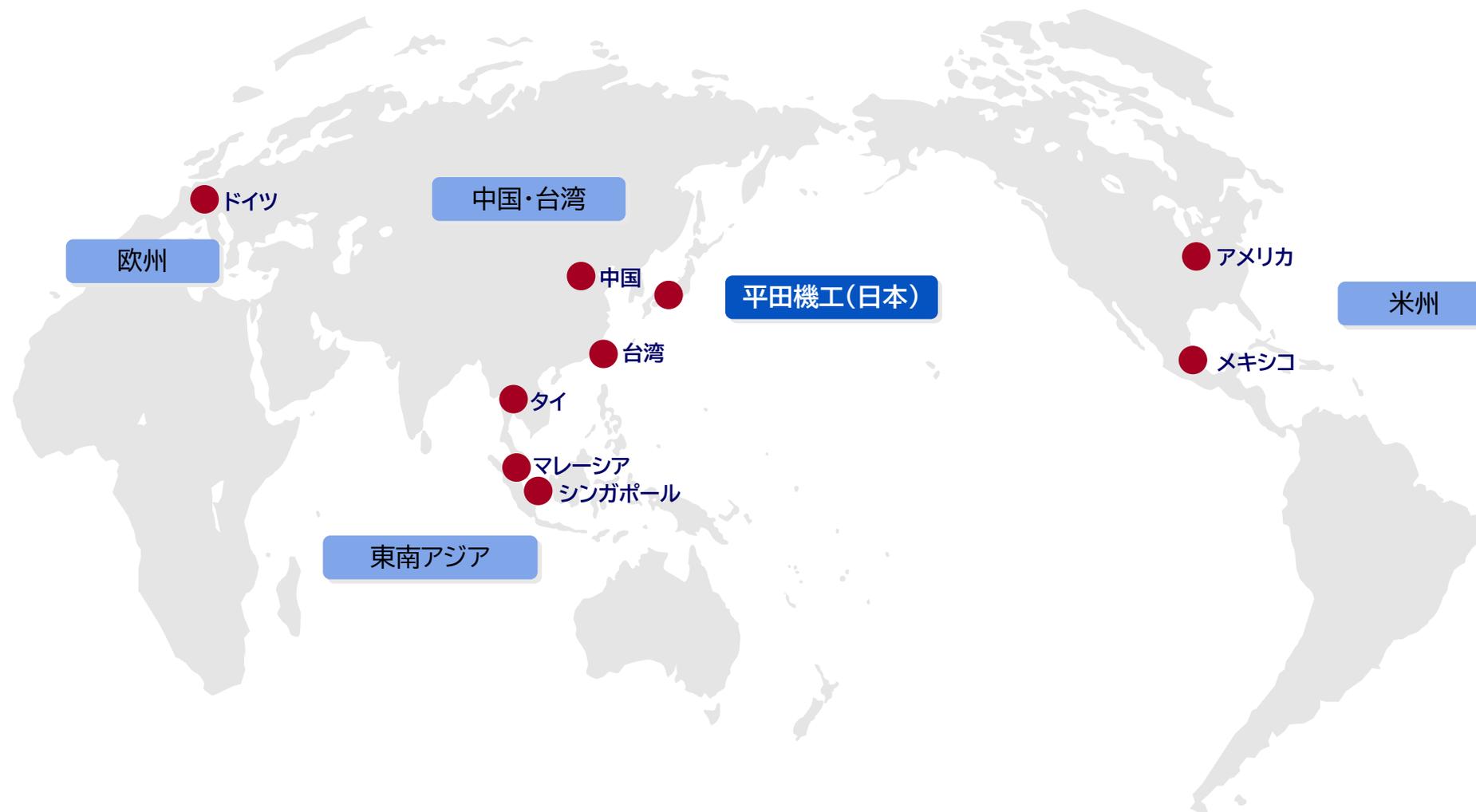
自動車・搬送設備 /  
電子機器機械器具関連



関東工場(栃木)



## II-9 Hirataのグローバルネットワーク



グローバルネットワークを活用し、さまざまな国のお客様に生産設備を納入(世界40カ国以上で納入実績あり)

## II-10 受注拡大に向けた生産スペースの拡張

- 大規模な生産設備の構築には広い生産スペースが必要
- 拡大する需要を確実に取り込むため生産スペースの継続的な拡張に取り組む

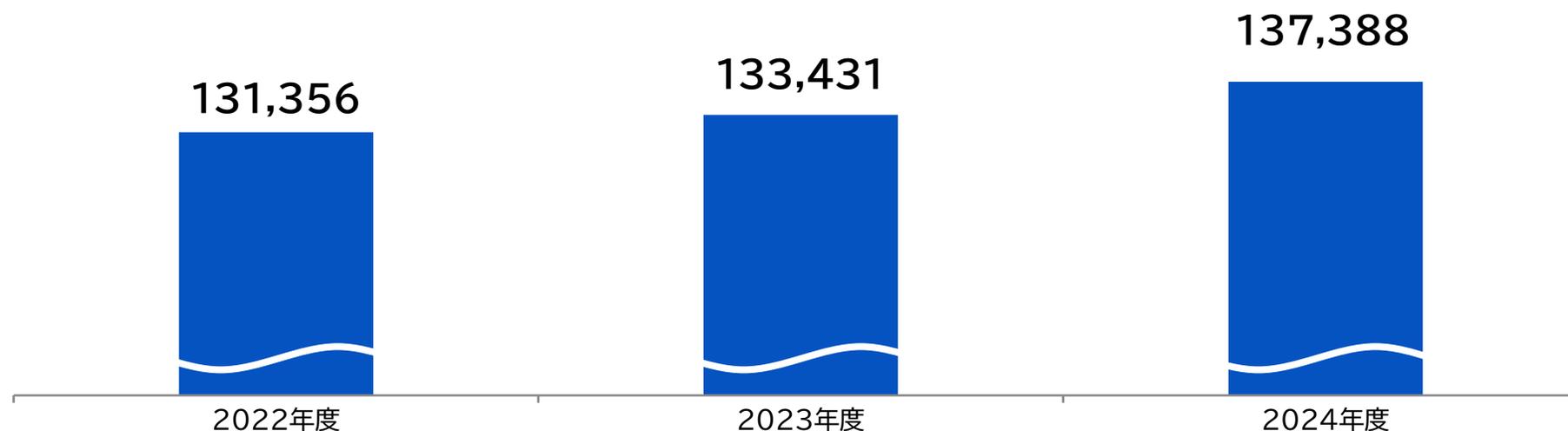
- ・ 工場面積 **135,000m<sup>2</sup>超**
- ・ クリーンルーム面積 **12,000m<sup>2</sup>超**

### ポイント

- ・ 2024年度までに2019年度比で工場面積が約28%増加
- ・ 関西工場の建替で全面リニューアル(2023年度)
- ・ 七城工場増床(2023年度)

■ 延床面積 (m<sup>2</sup>)

(単位: m<sup>2</sup>)



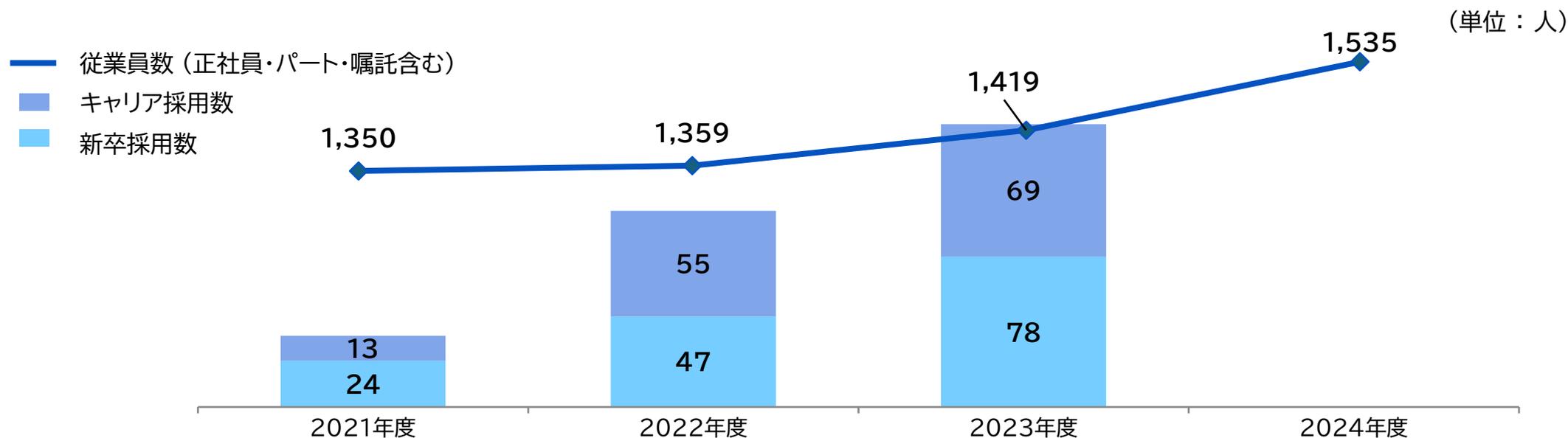
## Ⅱ-11 価値創造の源泉は「人財」

- 人財は事業拡大に不可欠な人的資本
- 賃金改善、働き方改革、福利厚生・教育訓練の充実等で人材への投資を拡大

- ・ 連結従業員数 **2,323名** (うち正社員1,967名)
- ・ 単体従業員数 **1,419名** (うち正社員1,112名)

### ポイント

- ・ 従業員の約8割がエンジニア(当社の価値創造の源)
- ・ 2023年度は単体従業員数の10%を超える人材を採用  
→ 人的資本の拡充を加速



# 目次

---

I. 会社概要

II. 当社の製品と競争優位性

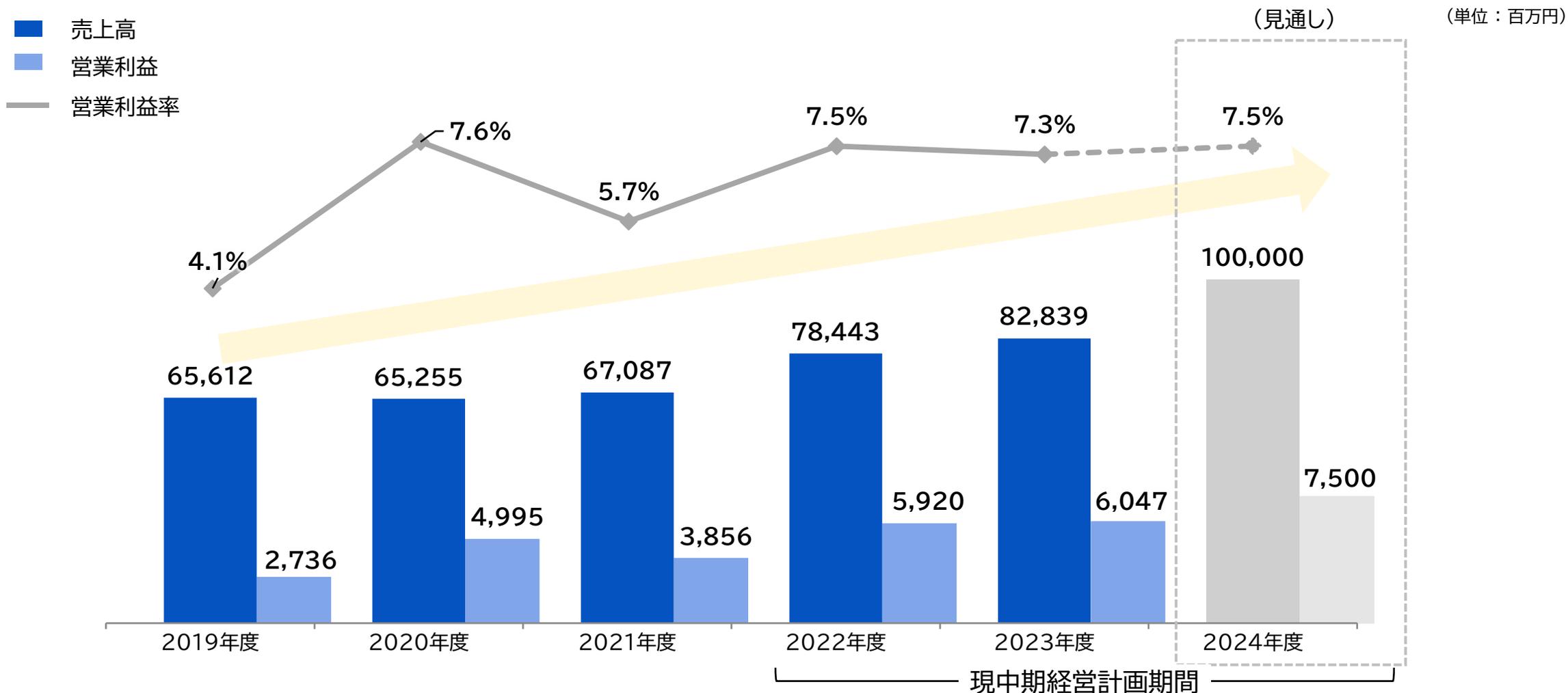
**III. 業績概要**

IV. 株主還元

V. ESGの取り組み

### Ⅲ-1 業績推移

- 自動車・半導体を中心に事業は拡大傾向（3期連続増収、2期連続増益）



## Ⅲ-2 2024年度業績予想

- 2024年度は売上高 1,000億円、営業利益 75億円で、対前年度増収増益の見通し

(単位：百万円)

	2023年度	2024年度	対前期	
	実績	通期予想	増減額	増減率
売上高	82,839	100,000	17,160	20.7%
自動車関連	36,984	50,000	13,015	35.2%
半導体関連	27,390	29,000	1,609	5.9%
その他自動省力機器	16,083	19,000	2,916	18.1%
その他	2,381	2,000	△381	△16.0%
営業利益（率）	6,047 (7.3%)	7,500 (7.5%)	1,452	24.0%
経常利益（率）	6,259 (7.6%)	7,300 (7.3%)	1,040	16.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益（率）	4,344 (5.2%)	4,700 (4.7%)	355	8.2%

## Ⅲ-3 大型案件の受注

### 2023年度以降に開示した大型受注案件

事業部門	開示日		設備概要	金額
自動車関連	2023年	6月	EV向けドライブユニット(EDU)組立設備	80億円超
	2024年	1月	EV向けバッテリー充放電関連設備	40億円超
		2月	内燃機関向けエンジン組立設備	約130億円
		5月	EV向けバッテリー充放電関連設備	約25億円
		8月	EV向けバッテリー充放電関連設備	約56億円
		8月	EV向けドライブユニット(EDU)組立設備	約87億円

- バッテリー充放電関連設備は2022年度より本格的な受注を開始し、受注実績は累計で150億円超
- 大規模案件への対応力ならびにこれまでの納入実績等が評価され、継続して受注獲得

# 目次

---

I. 会社概要

II. 当社の製品と競争優位性

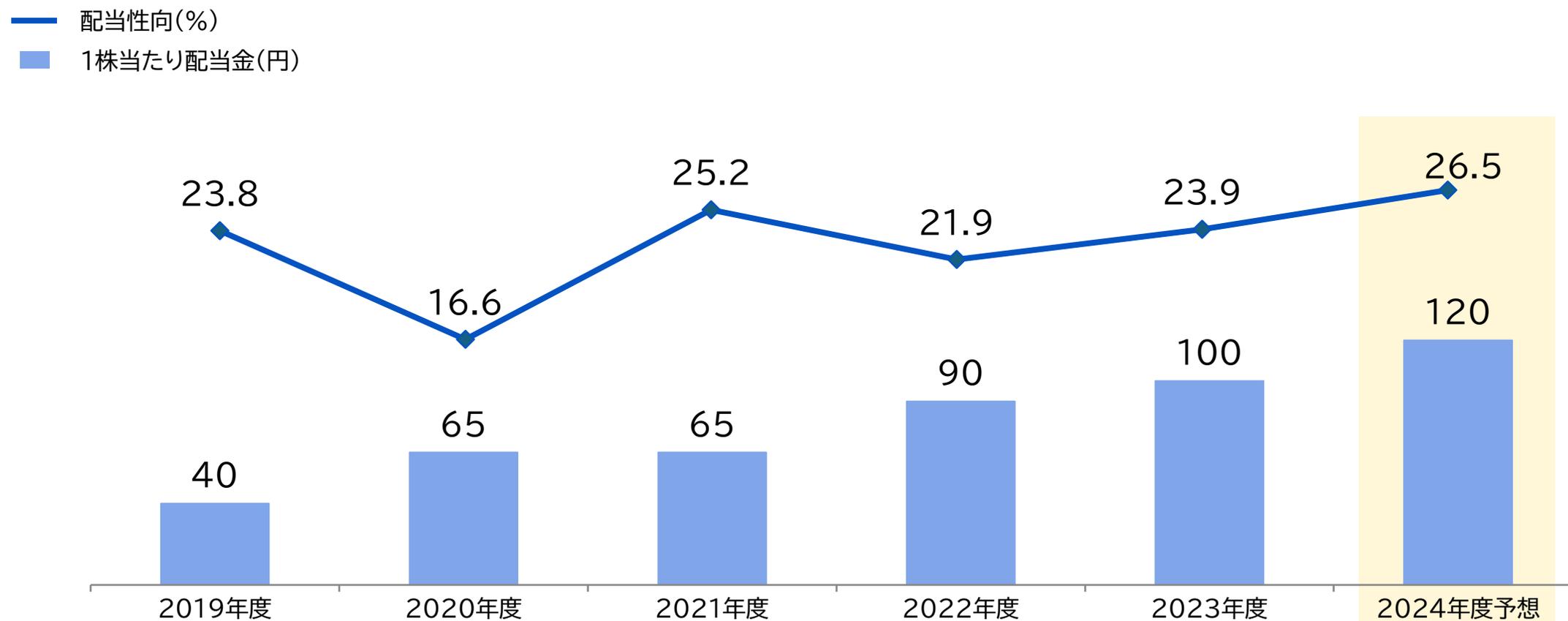
III. 業績概要

**IV. 株主還元**

V. ESGの取り組み

## IV-1 配当性向推移

- 連結配当性向20%以上を概ねの目安とし、配当を実施
- 今後の配当に対する考え方は、株主還元策も含めた資本政策の中で検討を進める



## IV-2 自己株式の取得

- 資本効率の向上および株主への利益還元ならびに経営環境の変化などに応じた資本政策の柔軟性・機動性の確保を図り、自己株式の取得を行います

重要事項	内容
取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	25万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.4%)
株式の取得価額の総額	10億円(上限)
取得期間	2024年11月11日から2025年3月31日

(ご参考)2024年9月30日時点の自己株式の保有状況

・発行済株式総数(自己株式を除く)	10,386,997株
・自己株式数(信託口含む)	369,093株

## IV-3 株主優待制度

- 当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有していただくことを目的に2016年より株主優待制度を導入しております
- 同年4月に発生した熊本地震の復興支援(熊本市への寄付)も優待メニューのひとつに



©2010 熊本県くまモン#K1761



熊本市への寄付

● 株主の皆さまは以下のいずれかを選択いただけます

①熊本城災害復旧支援金(6円)付きクオカード3,000円分

②熊本城災害復旧支援金として熊本市に3,000円を寄付

※対象となるのは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単位(100株)以上を保有する株主様となります。

# 目次

---

I. 会社概要

II. 当社の製品と競争優位性

III. 業績概要

IV. 株主還元

**V. ESGの取り組み**

## V-1 ESG経営の取り組み強化

2022年	10月	「人権方針」策定、「調達基本方針」改定	
2023年	4月	サステナビリティ推進委員会発足 HPに「サステナビリティページ」を新設し、ESGの情報発信を強化	 <p><b>WE SUPPORT</b> UN GLOBAL COMPACT</p>
	9月	「国連グローバル・コンパクト」署名	
	10月	人権デュー・ディリジェンス導入	
	11月	経団連「企業行動憲章」への賛同表明	
2024年	1月	「Hirataグループ行動規範」制定 サステナビリティ推進委員会に「人権尊重ワーキンググループ」設置	 <p>FTSE Blossom Japan Index</p>  <p>FTSE Blossom Japan Sector Relative Index</p>
	6月	「FTSE Blossom Japan Index」 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定	

## V-2 地域貢献活動

プロスポーツチームへの協賛を通じた地域スポーツ振興への貢献を行っております



©ACK



熊本県内の子ども食堂を支援するため  
多数の来場者が見込まれるロアッソ熊本の  
ホームゲームで「フードドライブ」を実施

サッカーJ2リーグ「ロアッソ熊本」  
オフィシャルトップパートナー



バスケットボールB2リーグ「熊本ヴォルターズ」  
パートナー



バスケットボールB1リーグ「宇都宮ブレックス」  
オフィシャルスポンサー



バスケットボールB1リーグ「滋賀レイクス」  
シルバーパートナー

# 当社ホームページのご案内

## 当社ホームページもぜひご覧ください



当社ホームページ  
<https://www.hirata.co.jp/>



• IR情報  
<https://www.hirata.co.jp/ir/>



• 統合報告書  
<https://www.hirata.co.jp/sustainability/integratedreport>



## 本資料のお取り扱い上のご注意

### ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。